

運転士の生理現象は人権問題だ！

N700S で車椅子スペースを拡大しました

0系時代は2人乗務でした。

運転士は2人乗務にするか、運転室にトイレを設置するか。

運転士に不安、負担を与えない状況を作るべきである。

待ったなし！冷静な判断ができない！

運転士の心理は、生理現象だとしても列車を止める事は、躊躇する事であり勇気が必要です。

列車を遅らしたくない。お客様に迷惑をかけてしまう。

生理現象が起きると、肉体・精神状態が追い詰められ、冷静な判断が失われてしまいます。

生理現象はいつ起きるかわかりません！

運転士は過酷な仕事である！

運転士が生理現象を前日から意識して体調管理を考えなければなりません。それでも生理現象は、コントロールすることは難しく、出来ないことです。

運転士は、乗務中全くトイレに行けないのです。大変なプレッシャーで過酷な仕事です。

内勤者の皆さん、出勤して昼休憩まで、一切トイレに行っては行けない。昼食後業務終了まで、トイレに行けないとしたらどう思いますか？

人権問題に関わる大変な問題である！至急改善必要！